

お知らせ

INFORMATION

No.2018-08
2018年3月
病体生理研究所

検査内容変更および検査実施料新設のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、高精度試薬への変更と検査実施料新設のご案内をさせて頂くことになりましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【検査内容変更について】

◆ HbA1c (NGSP) [17901]

※関連図裏面参照

検査項目 〔コード〕 案内掲載頁 検査実施施設	変更内容	新	従来	備考
HbA1c (NGSP) [17901] P.15 B	検査試薬	酵素法 〔協和メデックス〕	酵素法 〔LSI ゲイエンズ〕	高精度試薬へ変更 いたします。検査方 法に変更はありま せん。

《変更日》：2018年4月2日（月）受付分より

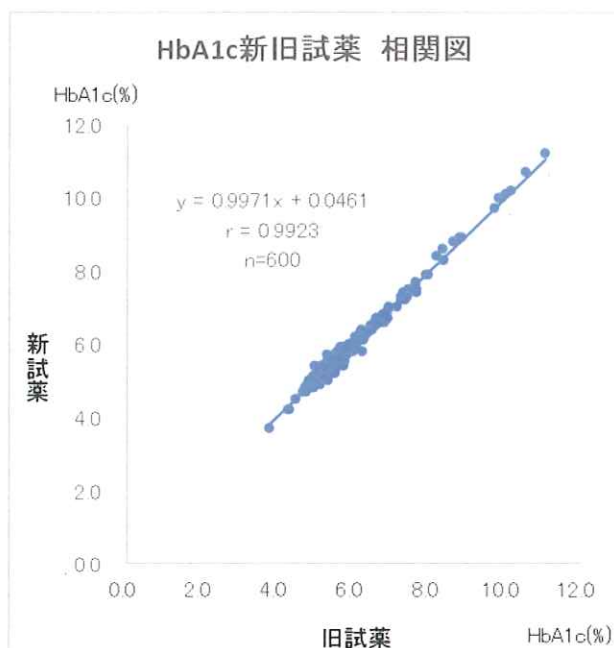
【検査実施料新設項目について】

◆ カルニチン分画 [13736] … 検査実施施設 (S)

※項目情報裏面参照

《適用日》：2018年2月1日（木）から適用

【HbA1c 新旧試薬相関図】



【項目情報】

項目名称	カルニチン分画
コード	13736
検体材料・保存	血清 0.5mL 冷蔵
採取容器	1→5
検査方法	酵素サイクリング法
基準値・単位	総カルニチン 45～91 遊離カルニチン 36～74 アシルカルニチン 6～23 ($\mu\text{mol/L}$)
所要日数	3～5日
実施料 (区分) 判断料	総カルニチン 95点 (D007 24) 遊離カルニチン 95点 (D007 24) 144点 (生化学的検査 (1))
備考	<p>検査実施料算定基準</p> <p>ア、遊離カルニチン及び総カルニチンは、区分番号「D007」血液化学検査の「24」LDアイソザイム1型の所定点数に準じて算定する。</p> <p>イ、本検査は、酵素サイクリング法により測定した場合に算定する。</p> <p>ウ、本検査を先天性代謝異常症の診断補助又は経過観察のために実施する場合は、月に1回を限度として算定する。</p> <p>エ、静脈栄養管理若しくは経腸栄養管理を長期に受けている筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症若しくは小児の患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者、バルプロ酸ナトリウム製剤投与中の患者、Fanconi症候群の患者又は慢性維持透析の患者におけるカルニチン欠乏症の診断補助若しくは経過観察のために、本検査を実施する場合は、6月に1回を限度として算定する。</p> <p>オ、同一検体について、本検査と区分番号「D010」特殊分析の「8」先天性代謝異常症検査を併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。</p> <p>カ、本検査の実施に当たっては、関係学会の定める診療に関する指針を遵守すること。</p>